

4年ぶりの開催に笑顔花咲く「森林カルチャー」

理事長 山本恵由美



一生懸命に作った作品を手に。



「みて～」あふれる笑顔！



山本薫研修生。切り方指導に奮闘中。

公益社団法人広島県貯水槽管理協会主催の「森林カルチャー」は毎年、協会に関わる多くの家族が楽しみにして参加されていましたが、コロナ禍で2020年から昨年まで中断を余儀なくされ、今年度やっと10月15日（日）に再開されました。

この事業は本会に相談があり、「『水』を扱う企業の社会貢献として森を舞台に活動したい」という要望を受け、山本がプログラムを企画提案して始まり、10年以上関わっています。今回からは大竹市栗谷から広島市森林公園に場所を変えて実施することになり、初参加の人と常連の人が約50名参加。森林整備は遊歩道沿いの樹木の剪定や除伐を小さな子供も一生懸命にノコギリを引き、親子で楽しく汗を掻いてもらいました。昼食は恒例のバー

ベキューで皆さん交流を満喫される中、お腹いっぱいになった子どもたちはお待ちかねの木工クラフトを体験。今回のテーマは「恐竜」。来年の干支にもなる個性ある作品が出来上がり！待ちわびたイベントは無事に成功裏に終わり、役員の皆さんは安堵の充実感に浸っておられる様子でした。何度も感謝のお言葉をいただきました。講師は当初から関わる見勢井顧問、富田そして研修生として抜擢した山本薫の4人で対応しました。



恐竜クラフト勢ぞろい



わが子に切り方を教えるお父さん